

藤沢

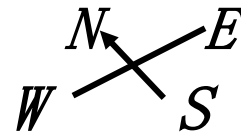
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2024年11月1日

第366号



主な記事

- ・ふじさわ環境フェア開催
- ・ふじさわ7月8月の平均気温が過去最高に
- ・藤沢平和文化展から
- ・「建築再生可能エネルギー利用促進計画」説明会

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

日本被団協 ノーベル平和賞受賞！

10月12日、テレビ報道で被団協（日本原水爆被害者団体協議会）がノーベル平和賞を受賞したニュースが流れた。ええ！、一瞬耳をうたがい聞き入った。まぎれもなく、私共が加入している被爆者加入団体である。

永年平和活動に力を入れ、核兵器反対、戦争反対と訴え続けてきた被爆者にとって正に悦びにたえない。

多くの人々が、先の戦争で犠牲になり、言葉には言い表わせない状況で、悦びと悲しみとが一瞬おそい、何とも言えない感情が込み上げてきた。この情報も聞くこともなく、近々去って行った被爆者の人達、あの世に何とか届けたい。そんな思いでいっぱいである。

神奈川県原爆被災者の会も12月に正式に受賞したら、改めてお祝いの会を開くであろう。私達被爆者も年々少なくなり、被爆体験を話す人さえ

いなくなってきた。先の戦争終結後、幸い日本は平和を維持し戦争反対を訴え続け、今日に至っている。世界を見渡せば、今も戦争は続いている。

ノーベル平和賞に選ばれた被団協、「核兵器廃絶の力に」 核なき世界の実現を被爆者は最後のお願いで、皆んなで叫んでいるのです。

(神奈川県原爆被災者の会藤沢支部 埴下雅美)



(広島平和公園原爆死没者慰霊碑)

ふじさわ環境フェア開催

～来る 11 月 9 日～

＞ この原稿を書いているのは、衆議院選挙期間中である。各政党、各候補が何を考え、何を重視しているのか、最も国民に訴える時期、しかし様々なチラシなどを見ても、半数以上のチラシには環境に関する事を重視するようには書いていない。

＞ 命に関わるような激甚災害を引き起こす大雨が頻繁に起きたこの夏を経ても、地球温暖化を包括する気候変動に対しての危機感が薄い、というより喪失してしまっている。まるでその件に関しては諦めてしまい、気が付かない振り、忘れておこうと怠っているようである。

＞ それだけに限らず環境危機は深刻で、プラスチック汚染、ピーファスなど、課題は増えていき対策しなければならない案件は増えるばかり。エネルギー問題だって課題を乗り越える策が提示されていないのに、温室効果ガスをこの時ばかりに引用されて原発回帰させる始末。

＞ こんなことがまさしく雨霞、我々が生きている間は平気だけでも、孫子の代には困るから、今のうちにやらなければと、頑張ってきたけれど、そんな悠長な事は言っていられない程に、死ぬかも知れないほど夏が暑くなり、打つ手がないと感じるようになっていく。

＞ もうね、困ってますよ！目算狂ってきてませんか！雪は減ったし、豪雨すごいし、秋が消えるなんて誰が予測してました。減反の行き過ぎなのか、米が消えたら、倍の価格で帰ってくるなんて。格好悪い、面倒臭い、効果見えない、なんて言ってやらない人が周りにたくさんいますよね。ベプはおかしい、温暖化してない、陰謀が、陰謀が、なんて人が増えていきますよね。怖すぎる問題から逃げている人をこれ以上増やさないためにも、第27回ふじさわ環境フェア、11月9日土曜日に市民会館で開催致します。

＞ 今回はこれまでの各ブースのクイズラリーがクイズ王決定戦以降となり、大学生の発表会があるなど、新企画も盛りだくさん、そして初めて消防フェアとの同時開催になり、場所の変更は第二展示

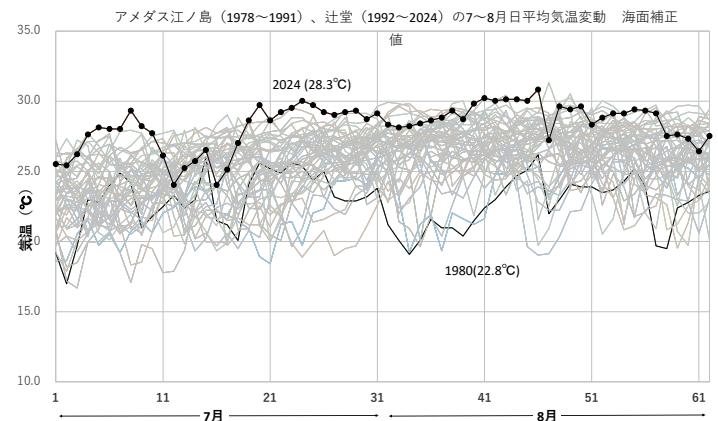
ホールが環境フェアではなく、消防フェアですが、他は変わらず環境フェア、大小のホールも使わず、少々こじんまりとしています、活気はあるはずの環境フェアにぜひお越し下さいませ。（青木正美）

藤沢 7 月 8 月の平均気温が過去最高に

超異常な暑い夏（第 1 回）

アメダス江ノ島/辻堂の気温変動

藤沢を代表する気象観測地点は、1978 年～91 年は江ノ島、それ以降は辻堂のアメダスです。年々気候の変動が大きくなるなかで、今年の夏（7/8 月）の日平均気温の変動を図にしました（下図）。両観測地点とも海面更正した気温です。縦軸は日平均気温、横軸は 7 月～8 月の 2 ヶ月間の日数を示します。観測開始以降 46 年間で、黒丸は今年の変動を、濃い実線はこの期間中で最も平均気温が低かった 1980 年の変動です。その他のグレー色の線はこの 2 年以外の年の日平均気温変動です。次のことがわかります。



今年（2024 年）は、7 月中旬頃（梅雨末期）に曇天・雨天が連続し、一時的に気温が低下しました。また、8 月末は台風 10 号の影響で同様に気温が低く経過しました。総じて見ると、今夏は上記の期間を除き日平均気温が連続して高く経過しました。この結果、過去 46 年間で最も暑い夏（7/8 月）でした。46 年間の気温上昇は 5.5℃に達しました。

今夏の暑さが「異常気象」なのか否か。月別値の統計値による「異常気象」の定義では、標準偏差の ± 1.83 倍を超える場合とされます。しかし日別値についてはこうした数値的定義はありません。

詳細は気象庁のサイトを参照してください。

https://www.data.jma.go.jp/cpd/monitor/extreme_world/explanation.html

そこで一般的な基準、「過去 30 年に 1 回以下の頻度の現象を異常現象とする」を適用することになりますが、46 年間で初めてということは超異常気象と言えます。

一方 46 年間で最も気温が低かった 1980 年には水稲冷害が発生しました。水稲が生育する期間に寒冷な北東気流が主として関東・東北・北海道一帯に現れて深刻な被害を引き起こしました。(続く)

(NPO 法人クライメイト・ウォッチ・スクエア林陽生)

「ふじさわ平和文化展」から

継続は力なりと申しますが、このふじさわ平和文化展も第 11 回を迎えました。

皆様の御協力を得たとはいえ、何とかここまで続いて来ているのを嬉しく思っています。

藤沢には平和を愛する先人たちの歴史・文化・作品も多く残っており、現在尚活動されている方々もあるのに拝見もできない残念さがありましたが、今は「ふじさわ平和文化展」として第 11 回まで続きましたこと、ご苦労さまでした。

これからの発展も願っております。

又次の文化交流の機会ともなりますようお願いものです。一人一人の力は小さなものですが皆さんで集まれば大きな力になることの例と成長して行くことを願っております。

「かかる世に替えし我等が命かと老いざる死者の声怨み言う」

と言う岡野弘彦さんの絶唱がありますが世界に誇る日本国憲法にある平和を守ることへの国民の変わらぬ希望を大切にしていきたいものです。

日本の平和を・藤沢の平和を・そして平和がもたらすであろう文化を継承して行く力になれることを願っています。

日本国憲法を守り・平和を守り・命を守る努力をおしみなく続けることが何よりの喜びであることをおつたえして終わりといたします。

(婦人民主クラブ 川崎 典子)

「藤沢市建築再生可能エネルギー

利用促進計画」

説明会

10 月 19 日に藤沢市本庁舎において、表記説明会が建築指導課の主催、環境総務課の同席で開かれました。なおこの「計画」の来年 4 月運用開始は全国 5 市町、神奈川県は横浜市と藤沢市だけです。

・「改正建築物省エネ法」について

「藤沢市建築再生可能エネルギー利用促進計画(以下「計画」)」は、国土交通省所管の「改正建築物省エネ法」に基づき藤沢市が作成するものです。この法律により 1) 再エネ(太陽光発電)を設置する場合には建築基準の一部を緩和できる。2) 家屋の新設時に、建築士は依頼主に再エネのメリットを説明する(義務) 3) 建築主は再エネ設備の導入に努力する(努力義務)。4) 自治体は、制度利用促進のため建築士に便宜を図り、地域の実情に即して「計画」を作成する義務があります。

そこで藤沢市は「計画」の来年 4 月運用をめざし、パブコメを 11 月 7 日まで実施しています。

・「計画」の説明

説明会では冊子「改正建築物省エネ法に基づく藤沢市建築物再生可能エネルギー利用促進計画の説明会」が配布されました。パブコメ用の資料は別に藤沢市のホームページから入手できます。説明は、配布された冊子を使い、1. 藤沢市の温暖化対策の現状と課題、2. 本計画の背景や目的、3. 改正建築物省エネ法の概要、4. 計画の内容、5. 建築士の説明義務、その外スケジュールの説明がありました。



・おわりに

説明会は土曜の午前で、予想に反し 3 人だけの参加でした。説明は 20 分でわかりやすく資料も適切でした。説明の後には参加者の発言機会があり回答も丁寧でした。ただ残念なのは説明会開催が現在住宅の購入を予定している市民に届かなかったか、今回の制度だけでは「聞いて得する話」ではなく話題になっていないことが危惧されます。今後、パブリックコメントは続き、その後計画実施には条例改正も必要です。さらに注視していきましょう。

(菅谷芳雄【石川】)

『〇月〇日、区長になる女』上映

NPO 気候危機対策ネットワーク4周年記念上映会を開催しました。

以前にも選挙を扱った映画を見たことがあり、選挙とはなんとスリリングなものかと思っていましたが、この映画はスリリングな上に希望も湧いてくる稀有な作品でした。

東京都杉並区で区政に疑問を持った監督が議会の傍聴し、怠惰な議会に見切りをつけ、どうしたものかと動く中、市民団体が区長候補を擁立しようとする動きに出逢います。数十年来市民活動が続けてきた人々が、政治の場に市民の声を届ける方法の結論のひとつとして動いているものでした。しかし、区長選が迫る中、候補者に出会えていない状況です。片や、ヨーロッパに暮らし NGO 職員として世界の自治体における「公共の再生」を調査してきた岸本聡子氏が、そのキャリアのまとめのひとつとして、市民の中に入っていき実際の活動を行う思いを固めていました。そんな両者が見事に出逢い、区長選への立候補を腹に固めた岸本氏が帰国したのはなんと選挙の2ヶ月前！しかもそこからお互いに手を携えて一気に邁進とは当然いかず、まずはお互いに腹落ちするまで侃々諤々の議論が続きます。見ているこちらとしてはこんな直前で揉めてる場合じゃないだろ！と思わず声が出てしまいます。そして勢いそのままに選挙戦に突入し、市民のみなさんの草の根活動の強さと岸本氏のタフさに圧倒されます。

市民の想いが実った岸本区長誕生のシーンは「本当に出来るんだ！」という希望と鮮烈な驚きとを与えてくれました。さらに区長選をゴールとせず、議会の刷新を目指し、岸本区長を応援した次世代の女性たちが次々と杉並区議会議員選挙に立候補する様にはもはや心が震えました。結果は現役 12 人が落選し、新人は 15 人が当選。そして女性が過半数を占める結果となるのです。私たちが進むべき道筋を見せてくれた映画、これからも希望をもって「草の根運動」を展開しよう！と勇気をもらいました。次は自分の自治体だ！

(益永由紀)



ECONET INFORMATION

▲ふじさわ環境フェア Eco2 まつり2024

11月9日(土)10:00~15:00 藤沢市民会館

地球に COOL なそよ風を

～今日の気づきが未来を変える～

スタンプラリー 環境クイズ王 3Rsキャラクターショー

▲学習会「原子力発電所の老朽化による問題」

11月18日(月) 13:00~15:00 藤沢市役所分庁舎 6階

6-3・4 会議室 (定員 35 名)

講師:上澤千尋(原子力資料情報室) 参加費:無料

主催:藤沢市放射能測定器運営協議会

田熊久枝 TEL/FAX:0466-43-4778

お問合せ:市役所市民相談情報課消費生活センター

TEL:0466-50-3573(直通)

▲武本匡弘さんのはなしを聞こう

～海の中から地球が見える気候危機と平和の危機

11月24日(日)10:00~11:15 市役所本庁舎5階会議室2

主催:福島子どもたちとともに・湘南の会

事前申し込み:080-5099-4264(青柳)

090-2527-3200(すどう)

▲くらしフェスタ 12月15日(日)1:30~15:00

F プレイス 体育館ほか 入場無料

「マイクロプラスチックストーリー 僕らが作る 2050 年」上映

ローリングストック講座・お菓子づくり(事前予約制)など

主催 みんなの消費生活展実行委員会・藤沢市

▲藤沢エコネットから

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

◆事務局会議 12月7日(土)10:00 六会公民館



《編集後記》 総選挙が終わった。結果、与党は半数を割り込みました。政権交代とはならず少数与党で行くことになりそうだが、少なくとも審議もおさなりに强行採決ということはなくなるのだろうか。投票率が戦後 3 番目の低さだという。与党の横暴に国民はあきれ、また知られることなく法案成立が続いたせいだろう。ともかく与党は一部野党と裏取引などとはならないだろうが、最低限、国民にもわかり易い審議に期待したい。(YS)